

それぞれの思いを語った医療宣言づくり

私たちは、民医連で働く医療従事者として「患者さんの立場に立って親切でよい医療」を目指します。患者さんの要求をよく聞き、インフォームドコンセントを基本に要求の実現に努力します。また、患者さんと結びつきを蜜にしてより一層信頼関係を築いて行きます。以下巨摩共立歯科診療所の「医療宣言」を記します。

巨摩共立歯科診療所医療宣言

- ・ 中巨摩峡西、中巨摩峡南地域に密着し、患者さんのおかれている状態を良く知ると共に「いつでも、だれでも」巨摩歯科にかかりたいと思える開かれた診療所づくりを目指します。
- ・ 歯科の病気にとどまらず、患者さんを一人の人間としてその生活背景、労働の中で捉えられる努力をし、「病氣にならない」「重くしない」という点からも助けられるようにします。
- ・ いくつになっても笑顔が素敵な口元を持ち、口から食べられる豊かな人生を送れるような歯科医療を目指します。
- ・ 患者さんの要求をよく聞くとともに治療内容、今後の見通しを患者さんにわかるように説明し、より強い信頼関係を作っていきます。
- ・ 様々な医療要求に応えられるよう巨摩共立病院との連携を更に強め、技術の向上に努力します。
- ・ 「保険でよい歯科医療を」の取り組みを私たちが中心になって進めます。」
- ・ 患者さんの医療から追い出し、介護保険からの追い出し政策に反対し、誰でも安心してかけられる医療と介護を政府に要求します。
- ・ 地域の福祉サービスを改善させ、住みよい中巨摩地域にしていくため「峡西、峡南いのちと健康を守る会」とともに病院と連携し、自治体に働きかけます。
- ・ 峡西、峡南地域に「健康友の会」が大きく発展し、「共同の営み」で歯科医療を作りあげられるようにしていきます。
- ・ 核兵器のない平和な社会を非核宣言都市としてふさわしい町づくりにするために巨摩共立歯科診療所として取り組みます。

巨摩共立歯科診療所

1999年5月